

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所ケ・セラPlus			
○保護者評価実施期間	2024年8月1日 ～ 2024年9月30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数)	20
○従業者評価実施期間	2024年8月19日 ～ 2024年9月18日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 9月 30日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの発達状態に応じた個別活動と集団活動ができます	・ 個々のニーズに合わせた個別療育の実施を軸に、日常動作訓練、創作的活動、機能訓練、集団生活適応訓練を日々の活動に取り入れています。	・ PT、OT、STなどの専門的な支援を保護者様に分かりやすくフィードバックできるツールの活用を検討します。
2	季節ごとのプログラムや行事があります。 園庭・園芸体験の場所は整えています。	・ 親子参加型の芋ほり、夏祭りなどを開催しています。 ・ 砂場・滑り台・鉄棒のある園庭及び野菜畑が隣接しています。農食育の機会は他所より多いと思います。	・ 収穫した野菜などを家庭に持ち帰ってもらい、家庭での食育に繋いでいくように強化します。
3	手厚い支援体制	・ 担当職員を軸に、各職員が個々に関わりを持ち、療育に携わっている。個々の療育内容を職員間で共有し、スモールステップを全員で分かち合うようにしています ・ 日々の活動の様子を口頭だけでなく、画像や動画にて見ていただけるようSNSを通じて発信しています。	・ 子育て支援や家族支援を定期的に行って、保護者様への相談支援やフィードバックを大切にしています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	言語の専門的支援の定期化	* 言語聴覚士は外部の専門支援員なので、ニーズが高くても定期的な支援はなかなか定着できていません。	* 少なくとも月2～4回の固定支援を決めて、きて頂くことに取り組んでいます。
2			
3			